

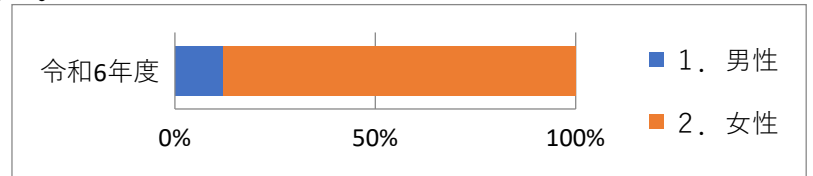
阿南市在宅医療・介護連携事業アンケート結果 地域住民高齢者対象

調査期間：令和7年3月19日

対象者：阿南市高齢者住民（西部エリア） 33名

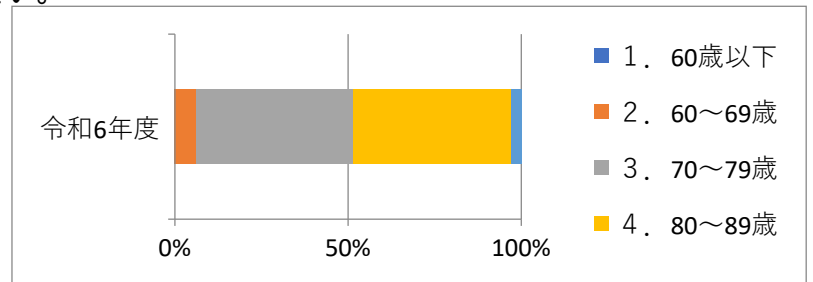
問1 あなたの性別について教えてください。

	令和6年度
1. 男性	4
2. 女性	29
計	33



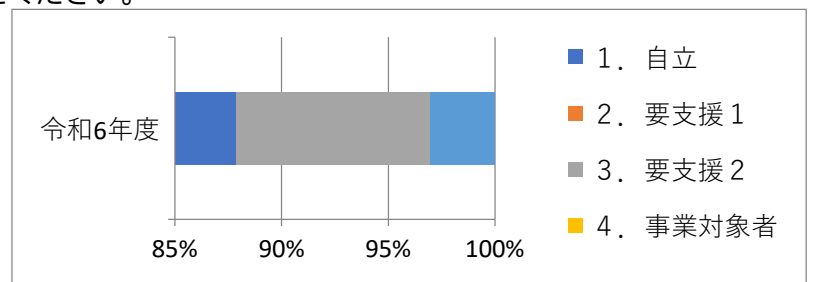
問2 あなたの年齢について教えてください。

	令和6年度
1. 60歳以下	0
2. 60～69歳	2
3. 70～79歳	15
4. 80～89歳	15
5. 90歳以上	1
計	33



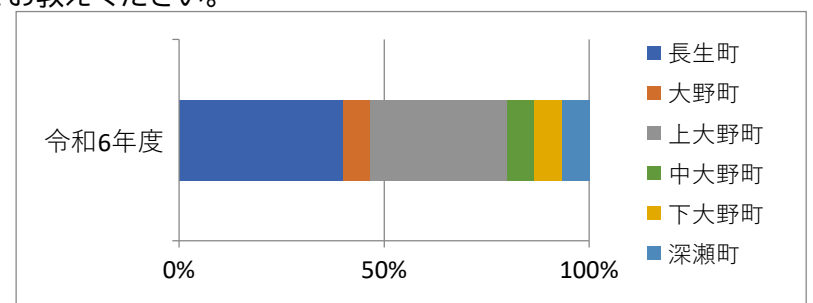
問3 あなたの要介護度等について教えてください。

	令和6年度
1. 自立	29
2. 要支援1	0
3. 要支援2	3
4. 事業対象者	0
5. 要介護	1
計	33



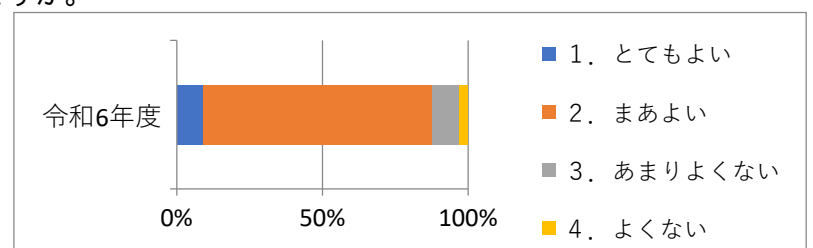
問4 あなたのお住まいの地域を町名まで教えてください。

	令和6年度
長生町	6
大野町	1
上大野町	5
中大野町	4
下大野町	15
深瀬町	2
計	33



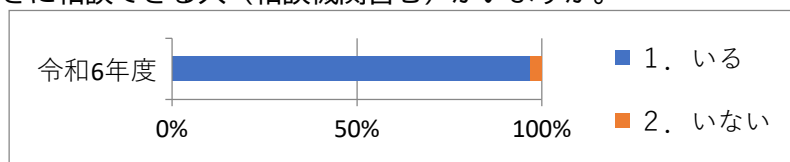
問5 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

	令和6年度
1. とてもよい	3
2. まあよい	26
3. あまりよくない	3
4. よくない	1
計	33



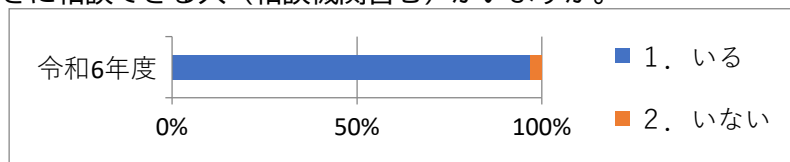
問6 あなたには、医療の相談をしたいときに相談できる人（相談機関含む）がいますか。

	令和6年度
1. いる	32
2. いない	1
計	33



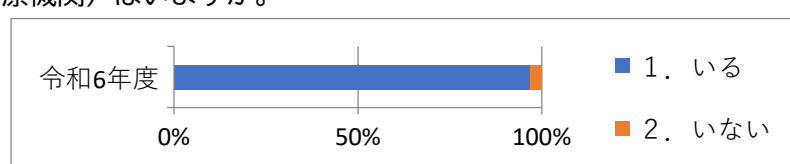
問7 あなたには、介護が必要となったときに相談できる人（相談機関含む）がいますか。

	令和6年度
1. いる	32
2. いない	1
計	33



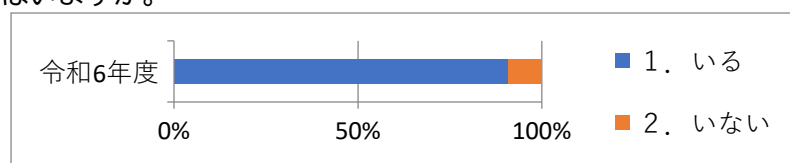
問8 あなたには、かかりつけの医師（医療機関）はいますか。

	令和6年度
1. いる	32
2. いない	1
計	33



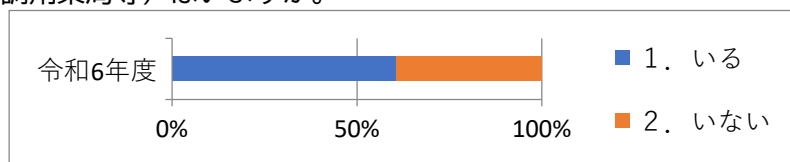
問9 あなたには、かかりつけの歯科医師はいますか。

	令和6年度
1. いる	30
2. いない	3
計	33



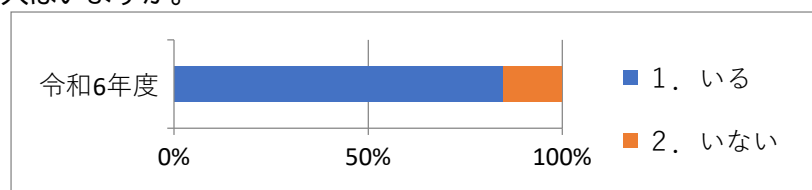
問10 あなたには、かかりつけの薬剤師（調剤薬局等）はいますか。

	令和6年度
1. いる	20
2. いない	13
計	33



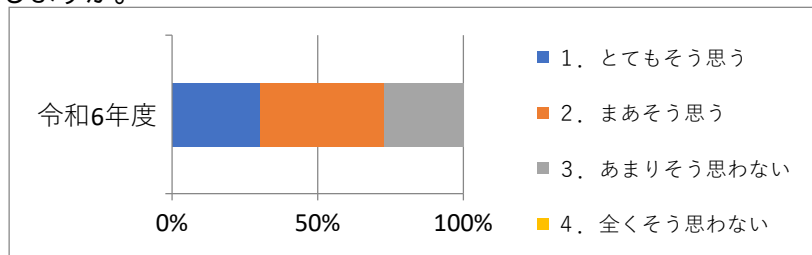
問11 あなたは、入院時に支援してくれる人はいますか。

	令和6年度
1. いる	28
2. いない	5
計	33



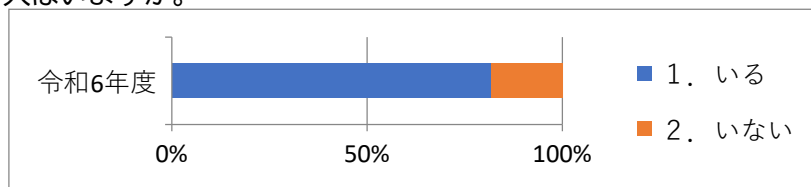
問12 あなたは、入院することに不安を感じますか。

	令和6年度
1. とてもそう思う	10
2. まあそう思う	14
3. あまりそう思わない	9
4. 全くそう思わない	0
計	33



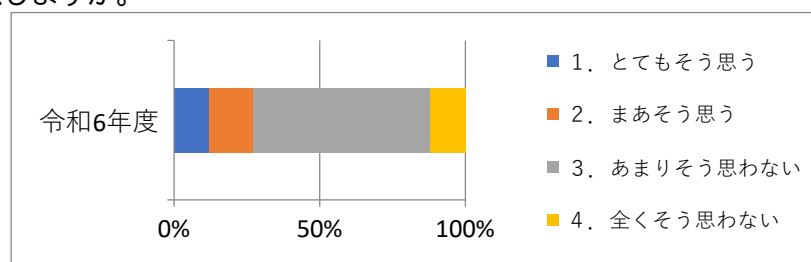
問13 あなたは、退院時に支援してくれる人はいいますか。

	令和6年度
1. いる	27
2. いない	6
計	33



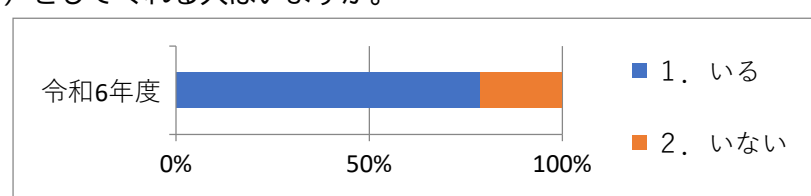
問14 あなたは、退院することに不安を感じますか。

	令和6年度
1. とてもそう思う	4
2. まあそう思う	5
3. あまりそう思わない	20
4. 全くそう思わない	4
計	33



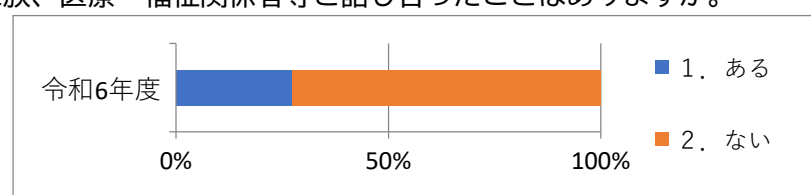
問15 あなたは、急変時に支援（付き添い）をしてくれる人はいいますか。

	令和6年度
1. いる	26
2. いない	7
計	33



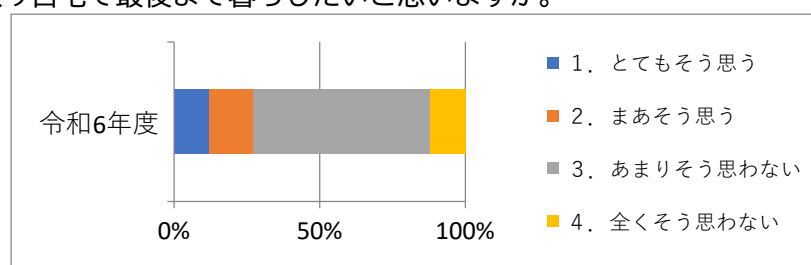
問16 あなたは、急変時の対応について家族、医療・福祉関係者等と話し合ったことはありますか。

	令和6年度
1. ある	9
2. ない	24
計	33



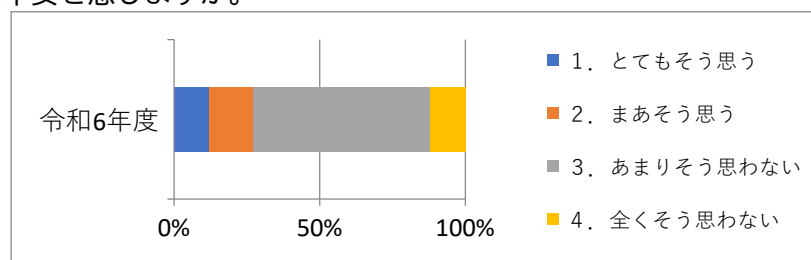
問17 あなたは、病気になってもできる限り自宅で最後まで暮らしたいと思いますか。

	令和6年度
1. とてもそう思う	15
2. まあそう思う	10
3. あまりそう思わない	7
4. 全くそう思わない	1
計	33



問18 あなたは、ACPを実践することに不安を感じますか。

	令和6年度
1. とてもそう思う	1
2. まあそう思う	5
3. あまりそう思わない	17
4. 全くそう思わない	10
計	33



《結果》

- ・健康状態は良い人が88%と新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、向上している。
- ・医療の相談ができる人は、相談機関を含めて97%がいる。
- ・介護が必要になった時に相談できる人は97%がいる。
- ・かかりつけ医師がいる人は96%がいる。
- ・かかりつけの歯科医がいる人は90%がいる。
- ・かかりつけの薬剤師がいる人は60%と少し低い。
- ・入院時に支援してくれる人は85%いるが、72%の人が入院に不安を感じている。
- ・退院時に支援してくれる人は82%おり、73%の人が退院に関し安心を感じている。
- ・急変時に支援（付き添い）をしてくれる人は79%いるが、急変時の対応について家族、医療・福祉関係者等と話し合ったことがあるの人の割合が27%と低く、ACPの普及啓発の必要性を感じる結果となった。
- ・病気になってもできる限り自宅で最後まで暮らしたい人が76%がいる。
- ・ACPを実践することに不安を感じている人は18%と少なく、この度のACPの公開講座の効果が実感できる結果となった。